



伊達な小咄

The Date museum presents Date na kobanashi...



7代藩主 伊達 宗紀

明治22(1889)年5月1日、宇和島中を賑わせる祝宴が開催されました。これは宇和島伊達家7代藩主宗紀の100歳祝いのもので、数日間続いたようです。

その内容は、能・狂言などの伝統芸能や、現在でもお馴染みの花火や手品、神楽、子どもの舞、闘牛、茶席や書画展などと記録されています。

また、市中には各家や自治体などが分担して、提燈、フラフ(旗)、短冊などを飾り、市民総出で大いに盛り上がったようです。

参列者は、血縁者・旧藩士など、その数は数千人とも。祝いの品では明治天皇から銀杯、昭憲皇太后から羽二重が贈られるなど、天皇や皇族からも祝福された様子が伺えます。

宗紀はこのような盛大な祝宴に対し、関係者や参列者へお礼の品を準備し、またそれぞれの名前を忘れず記録するよう指示するなど、律儀で礼儀正しい宗紀の人柄がしのばれるエピソードも残されています。

この祝宴からわずか半年後の

同年11月、宗紀はこの世を去りました。



宗紀100歳祝いの集合写真

前列左から10代宗陳(30歳)、宗敦(宗城次男)、8代宗城(72歳)、7代宗紀(100歳)、9代宗徳(60歳)、真田幸民(宗城長男) 後列左から納子(宗陳夫人)、保科節子(宗紀七女)、柳原初子(宗城次女)、隆子(康虎夫人)、康虎(宗徳次男)

最前列 保科正昭

※宇和島伊達家7、8、9、10代と歴代4人の当主が同席する珍しい写真です。

だてさんちのひでむにえ



ヒント...伊達博物館や天赦園に来てみれば分かるよ!

ひでむにえ と かみえひみえ

「えひめ南予いやし博2012」のイベントとして、「伊達修行」(公益財団法人伊達文化保存会協賛)が天赦園をメイン会場にして開催され、その中で、伊達博物館などで使用するキャラクターコンテストを行ったところ、30点あまりの応募がありました。その中から、一般の部の特別賞に輝いた「ひでむにえ」と「かみえひみえ」が、子どもたちに向けて宇和島の歴史や宇和島藩のお殿様のことなどを4コマ漫画で分かりやすく紹介します。



※このキャラクターを原案した作者にはご好意で4コマ漫画を提供いただき、キャラクターの使用権、著作権などは作者に帰しますので、無断転載は禁じます。

【問合先】 伊達博物館 ☎22-7776

開館時間：午前9時～午後5時 (受付は午後4時30分まで)
休館日：月曜日・年末年始 9月3日(火)～5日(木)・10月16日(水)～18日(金)
入館料：大人 500円 / 高校・大学生 400円 / 小・中学生 無料